

トークで一番印象に残ったのは疎開する人達がペットを残していかなければいけない辛さを思うと涙が出そうになりました。

講談は迫力がすごくて、情景が目に見え、浮かぶようでした。

山田 智美 (16歳)

## 私

は、今まで広島・長崎の原爆や、チェルノブイリの原発事故について深く興味をもつて知ろうとしたことはありませんでした。なのでこの講演を聞いて驚くことはたくさんあり、とてもショックを受けました。原爆はいくつかの資料を見たり、テレビや話を聞いて、大変なことなのだろうなとただ漠然としたものがあつたけれど、原発事故の危険な度合いとか、放射能だとか、それを浴びた人々はどのようなになったのか、詳しいことは何一つ知らず、そんなに大変なことではないのだろう、とさえ思っていました。神田

太谷 亜希

香織さんが「チェルノブイリの祈り」を講談でやったのを見て、そんな私でも、一つ一つの情景が頭の中に描かれて、実際に直面した人の悲惨さや、その周りの人々の愛情などが痛烈に心に響いてきました。そして何の関係もない子供たちまでもが苦しみを受けついたり、とてもやりきれない思いになりました。私の想像以上のできごとでした。この講演をきっかけに、原爆や、チェルノブイリの事故のことをもっと知ってみたいという気になりました。

そして今は、日本でも原子力発電所の役割が大きくなっていて、いつチェルノブイリのような事故がおこるか分からない状況だということ、核に間違つた安全意識を抱いていることなど、これからの私たちの課題にも目を向けて、知っていくことが大切だと思っていました。

## 前

半のアレクシエービッチさんのお話は、難しい内容だったけれどもどこに残るものでした。アレクシエービッチさんの熱い思いが伝わってきました。

後半、神田香織さんの講談は一瞬でも目が離せないほどの迫力で圧倒されました。あのまなざし、口調にパワーを感じ、講談の世界に引き込まれまして、照明や音響もとても工夫されていて、本当によかったです。心に残る一夜になりました。ありがとうございました。

小澤 あゆみ (16歳)

## 人

間が起こしたあやまちの事故処理で車にのせられて行く人間も気の毒ですが、かっていた動物を捨てにゆく、それを又軍人が動物を殺害する、人間のこうまんさを思う。原子力のこわさを知った。

## ち

エルノブイリは終わったと思いましたが、現在のベラルーシの状況は、独裁体制ということで事実がまだまだ明らかにされていないということがよくわかりました。情報公開や今起きていることが知らされることは大切なことだと思います。

神田さんの講談の最後が日本の地震での原発事故で終わるとは思いませんでした。そうならないようななんとかできることをしていけたらと思います。

ありがとうございます。

田中 貞見 (48歳)

## ア

レクシエービッチさんの戦争で使う核も平和目的で使用している原発も同じ核であるという発言にはっとさせられました。チェルノブイリの事故は他国の問題ではないと、地震対策に原発の安全性も含まれているのか、心配になりました。技術が進歩しても自然の力は足元にもおよばない

底力があります。浜岡原発が世界で唯一極めて危険という発言に、目の前が真暗になりました。

絶対安全の名のもとに、多くの原発が作られ、電気を供給、国民は無条件に使いやすさが文明、文化とばかりに無駄遣いをしてきた。ねむらない町が出現、昼夜の区別ない生活を一部の若者は送っている。一昔、NHKが深夜一日のくぎりを作ってくれた、民放も夜と朝のくぎりがあった。

今は24時間、いつでもテレビが鳴っている、人間の生活も多様になっているが、これも環境に一因すると思う。今は原発が供給量一位となっている。水・火は自然破壊と見直されているが原発のこわさはごく一部の人の意識にあるのみ。原発中止を提唱すると同時に私達もわずかでしょうが節電し、自然法則に逆らわない生活スタイルに戻るときではないか、電気を流水のごとく使うことなく、限りあるもの、必



笠原 寿子

要な所には充分使うという意識に変わっていかないと原発のこわさはおわらない。「チリもつれば」のたとえのごとく、一人一人の努力も大切では。今回高校生が大勢かかわっている姿に、日本の未来に希望が少しもてました。きっと、原発が全国的に見直されることを「絶対安全」という言葉はないうことをキモにめいじて。